

現場監理でスマートに図面を参照する方法

内容：現場監理をしている際に「この寸法はいくつですか？」と質問されることがあります。

CADの図面は、正確に入力していても、出力した図面に寸法を記入していないと分りで計る
ことになりしますので、少々悔しい思いをしたことはありませんか？

ノートパソコンを現場に持って行けば、正確な指示もできますが、ただでさえ現場に行くには
荷物が多くなり、最近のノートパソコンがいくら軽量化されても大きなバッグをかかえて行か
なければなりません。

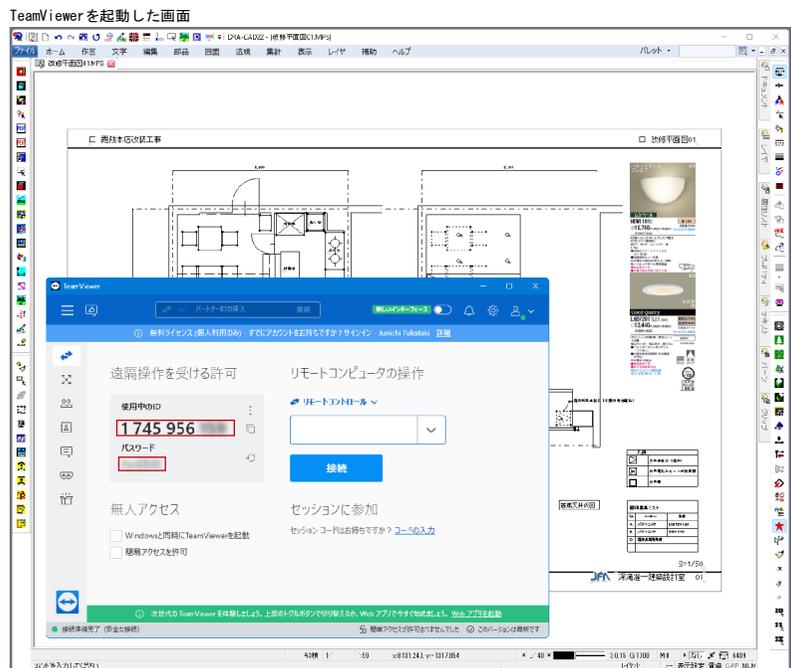
そんなときは、事務所のパソコンを起動させておき、iPhone等のスマートフォンから事務所の
DRA-CADIにアクセスすれば、正確な寸法を計ることや他の図面を参照したりすることができます。
スマートフォン専用アプリ「DRA Viewer」でもできますが、両者の良いところを利用してみては
いかがでしょうか

仕様：TeamViewer (https://www.teamviewer.com/ja/) を使って、iPhoneから事務所のDRA-CADに
アクセスし、DRA-CADを操作します。なお、TeamViewerには、Android用もあるので、iPhone
だけでなく、Androidスマートフォンも利用できます（個人向け無料ライセンスがあります）。

操作手順

1. 事務所のパソコンとiPhone両方にTeamViewerをインストールします
パソコン、iPhone共簡単にインストールできるので、ここは省略します
2. パソコンのTeamViewerを起動します

- ①「使用中のID」に書かれて
いるIDとパスワードをメモして
おきます
- ②DRA-CADも起動しておきます



2. 現場に行き、iPhoneでTeamViewerを起動します

- ①メモしてきた「ID」と「パスワード」
を入力し、「リモートコントロール」
をタップします

iPhoneの画面

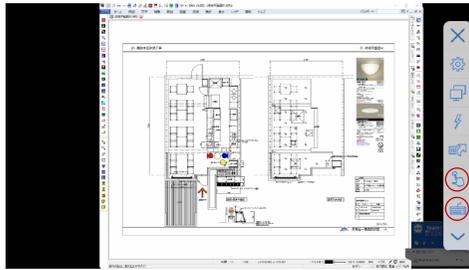


※ タップとはスマートフォン等で、
画面を軽く叩く操作のこと。マウ
ス操作のクリックにあたり、2回
連続でタップすることを「ダブル
タップ」と呼び、1回だけタップ
することを「シングルタップ」と
呼ぶ場合もあります

3. DRA-CADを操作する

- ①接続したらiPhoneを横に回転し、画面を見やすくします

パソコンのデスクトップが表示される

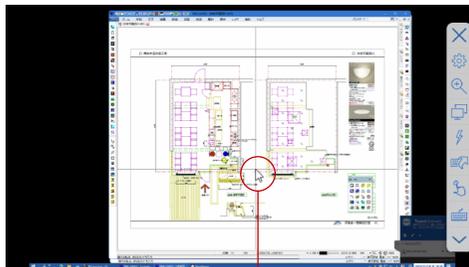


- ②右にある指のアイコンをクリックすると操作方法が表示されます。「マウスモード」と「タッチモード」を切り替えられるようになっています。「マウスモード」は画面に矢印のアイコンが表示され、その矢印でコマンドをクリックします。「タッチモード」は、画面上のアイコンを指でタッチして実行できます

操作方法の画面



マウスモードの画面



マウスカーソルが表示される

- ③キーボードの利用

画面右にあるキーボードのアイコンをクリックするとキーボード画面が表示されます。画面操作中に誤ってラバーバンドが出てしまったら「Esc」を押してラバーバンドを切れます。「F1-F12」にスナップモードが割り付けてあれば、ここで指定できます。上の文字列は、左にスクロールでき、「↑ ↓ ← →」で画面を移動したり「PgUp」「PgDn」で画面の拡大ができます

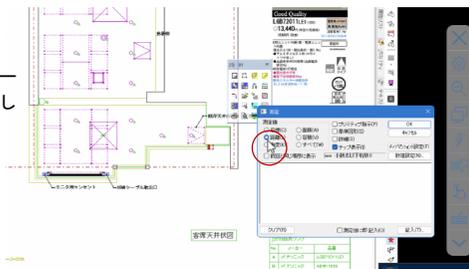
キーボードの画面



左にスクロールした画面

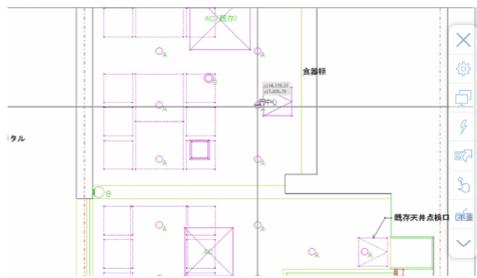


- ④ [距離測定] コマンドを起動する
ここでは、「マウスモード」で行っています。リボンメニューやポップアップメニューを画面にあるマウスカーソルでタップします



- ⑥スナップモードを指定し
(ここでは円中心モード)
測定します
測定したい最初のポイント
でタップします

最初のポイントを指示

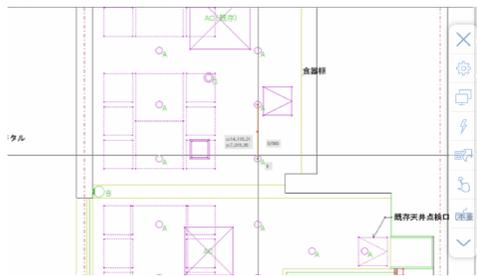


※ここでは、天井伏図のダウンライ
ト間隔を測定している



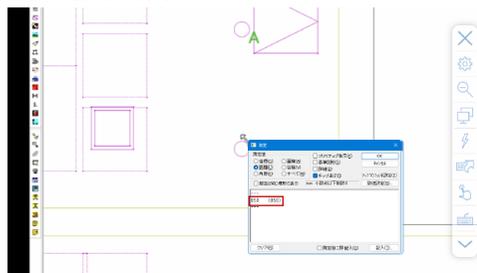
- ⑦測定したいポイント (終点)
でタップします

測定したいポイント (終点) を指示



- ⑧指で画面を長押しするとコマンドの
ダイアログに戻り、測定した値
(850) が表示されます

測定した値が表示される



POINT

TeamViewerを使ってiPhoneからDRA-CADを操作する際の注意点：

1. 画面が小さいので拡大、移動を多用します
2. コマンドを実行するのに苦労します (画面が小さいので)
3. たぶんDRA-CADユーザーでないと利用できません

ということで、あまりスマートとはいえないかもしれませんが、使用するメリットとしては、現在「DRA Viewer」が対応できていない以下の項目が表示できます。

1. 図面に貼り付けられている画像の表示
2. 図面に貼り付けられているExcelなどのOLEの表示
3. シンボル挿入された図面の表示
4. 形状により着色したポリラインの表示が乱れる

また、TeamViewerは、自宅のパソコンと会社のパソコンを接続することが簡単にでき、いろいろと活用方法があるので是非お試しください。